



福島幼稚園の取り組み

作るのたのしいな！福島幼稚園

新型「コロナウイルス感染症対策に取り組みながら、「進んでする子」「協力する子」「最後まで頑張る子」を教育目標に掲げ、さまざまな活動に自主的に取り組もうとする幼児の育成を目指し、保育実践を進めています。

福島幼稚園  
園長 島田由美子  
園児 25人

ありがとつのお気持ちを込めて  
年少・ひよこ組

敬老の日に向けて、ひよこ組の子どもたちがプレゼント製作(コスター作り)に取り組みました。はじめに、障子紙で染め紙。小さく折りたたんだ紙を絵の具の中へ。色は子どもたちのリクエスト《ピンク・青・赤・紫》です。「どんな色になったかな?」「自分でやってみる!」と紙を広げると、美しい模様に見える音があがりました。



「プレゼント完成〜!」



「早く渡したいな〜」

次に、得意になってきたのり付けです。台紙の形や色も好きなものを選び「のりはこのくらいでいい?」「確認をしながら指先を使って自分で仕上げるのができました。できあがったコースターと絵を描いた官製はがきを、大好きなおじいちゃんおばあちゃんへプレゼント♡ みんなのありがとつのお気持ちがたくさん届きますように。



のりを使うのも得意!じっくり取り組んでいます

いいのができたね  
年中・かなりあ組

ある雨の日、大小さまざまなビーズを出すと、きれいな色に興味を示す子どもたち。一学期にブレレット作りを経験していることもあり、次はネックレスを作りたいと挑戦。担任に丸ゴムの長さ調整してもらい、いざビーズのところへ。コロコロ転がり、机の上から落ちていくビーズを追いかけながら、好きな色を選んで一つ一つゴムに通して最後まで仕上げました。



「ネックレス作ろう〜!」

また、友だちの作っているネックレスを見て、「良い色だね。」「長くできたね。」「声をかけ合っています。」

最初は、大きいビーズを通していましたが、少しずつ手先が慣れてくると、小さいビーズにも挑戦し、今ではジュエリー職人のようになっています。



「みてみて〜すてきなネックレス」



「ぼくたちもできたよ〜」

コミュニケーション

上手にコミュニケーションがとれている時は心も穏やかで優しい気持ちで人に接することができ、そうでない時は心がギスギスしてしまいがちです。イライラしたり、ひがみっぽくなったり、疑い深くなったり、無愛想になったり…。

**教育相談室**  
◆問い合わせ・相談申込  
学校教育係 ☎(64)8323  
福島小言語指導教室  
☎090(2238)8704

「自分の話を聞いてほしい。自分のことをわかってほしい。自分がここにいたいことを認めてほしい。」誰もがこんな気持ちをもっていると思います。でも、誰かに自分の気持ちを伝えようとするとき「相手に拒否されたらどうしよう。受け入れてもらえなかったらどうしよう。」という不安も伴います。自分の気持ちを伝えたいなと思ったとき、相手が受け入れ

れやすいように話すことを心がけてみるのもよいかもしれません。さて、コミュニケーションという言葉を聞くと「一人にうまく話をすること」と思う人が多く、いかもしれませんが「聞くことも大切です。相手を批判したり、否定したりせず、相手に寄り添い、相手の言葉を受け入れようという気持ちで「聞く」。そのことから信頼関係も生まれてきます。コミュニケーションって、とても大切だけれど、難しいものですね。コミュニケーションって、キャッチボールのようなもの…。うまく話をするだけでなくコミュニケーションではないことも心に留めておけるといいですね。

製作遊びに夢中!  
年長・つばめ組

作って遊ぶことが大好きな子どもたち。イメージや発想はさまざま、集中して取り組んでいます。色画用紙に数字を書いて携帯電話を作った男の子。「ここは5Gだね。」とのやり取りにびっくり。ストローをつなげて長く伸ばした先に携帯を貼り付けた女の子。「チューブ撮るよ〜」の声に友だちが集まります。大人の様子をよく見てまねる姿に感心しました。翌日には、さらに充電器を作り遊びが継続しています。



「次はなに作ろうかな〜」

空き箱やテープなどいろいろな素材の特徴に触れ、不思議さや面白さを感じながら、考え、試し、工夫することを体験し、友だちと作る楽しさを味わうことで、表現する力や創造力を日々育んでいます。



「チューブ撮るよ〜」



「作ったぞ〜!!!」